

パレスチナ・ガザ地区
グローバル補助金活用による母とこどもの栄養改善・貧血予防指導

横浜西ロータリークラブ

担当者：船木拓志

h_funaki@waterone.co.jp

クラブ事務所：TEL045-223-5767

【グローバル補助金によるプロジェクト】

イスラエルからの長年の侵攻と封鎖によりガザ地区では子供たちの栄養不足が問題となり 2010 年頃には4割だった5歳以下の貧血児は7割に増加。栄養不足は全身の発達を妨げ免疫能力を低下させ深刻な問題に。それを撲滅すべく教育によって子供と母親の栄養失調お湯棒のための奉仕活動を 2014 年4月より行っております。





活動の流れ

- 1) 対象地域で子どもの栄養改善に特化したボランティアを育成する
- 2) 対象地域の母親や家族が、子どもの栄養と健康に関する知識と行動力を教育し向上させる
- 3) 子どもの栄養状態、貧血の改善

活動内容

- 1) ボランティア女性 30 人の育成と指導、研修の実施
- 2) ボランティアによる保健師指導の下での家庭訪問タイプ①⇒子どもの健康調査及び家庭登録
- 3) ボランティアによる保健師指導の下での家庭訪問タイプ②⇒母親・妊産婦、家族への栄養・保健に関するカウンセリング
- 4) 地域での栄養教育講習（パターン①調理実習、②女性委員会への講習、③公共の場所での講習）
- 5) ネットワーク作りに配慮した地域社会施設、一次医療施設、幼稚園、モスク等への協力要請のための訪問と活動の協働
- 6) モニタリング、評価

US トランプ大統領の出現により中東情勢が今後、さらに混沌とすることが予想されます。長年問題となっているパレスチナ・イスラエル問題を公平な目で見て人道支援することで、中東の安定に少なからず寄与できれば幸いであり、将来の平和構築の礎となる子供たちの命を守ることは大変重要な事業であります。